

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院産婦人科に、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌、腹膜癌、膣癌、外陰癌で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学産科婦人科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

Helical Tomotherapy を用いた、婦人科癌に対する放射線治療に関する、後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学産科婦人科学講座 講師 馬淵泰士

3. 研究の目的

Helical Tomotherapy は、強度変調放射線治療法 (IMRT) と画像誘導放射線治療法 (IGRT) が一体となった新規治療装置を用いた放射線治療法であり、それによる高精度の放射線治療が期待されています。婦人科領域における同療法の有効性及び安全性を検討するため、本研究を行います。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌、腹膜癌、膣癌、外陰癌の患者さんで、平成 25 年 1 月 1 日から令和 9 年 12 月 31 日までの期間中に、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌、腹膜癌、膣癌、外陰癌の治療 (検査) を開始した方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、治療の奏効率、全生存期間、無再発生存期間、有害事象の頻度およびそのグレードに関する情報です。

(3) 方法

カルテから情報を抽出し、統計学的検討を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学産科婦人科学講座 担当医師 馬淵泰士

TEL : 073-441-0631 FAX : 073-445-1161 E-mail : sanpu1@wakayama-med.ac.jp